

# パンセの木 Pensée Tree

パンセ個別指導学院  
発行所: 埼玉県所沢市  
西所沢1-12-4-5F  
TEL: 04-2925-7560  
E-mail: pensee-21-nish  
itoko@water.ocn.ne.jp

## 塾長からのご挨拶

パンセ個別指導学院はこの春七年目をむかえました。この間、五年以上パンセに在籍して、昨年大学生となった生徒さんもいます。実はこの生徒さんは、現在パンセのスタッフとして明るく懸命に、パンセの後輩に当たる生徒さんたちを指導しています。

本号に掲載されました合格体験記はパンセに集まったすべての体験記ではありません。まだ何倍にもなる数の体験記が残っておりま

## 合格体験記

平成二十年度卒SH君  
県立所沢北高等学校進学

僕は、中学一年生の六月にパンセ個別指導学院に入りました。入ってまず驚いたことは、先生方が一生懸命生徒に勉強を教

ていました。また、自分の学力に合ったテキストを使用していたことも、僕をやる気にさせたことの一つです。

二年生の終わりの頃、僕は漢字検定と数学検定を受けることになりました。その時、パンセの先生方は、僕を漢検と数検に合格させるために、特別な授業

げで、漢検と数検に合格することができました。

定期テスト前には、テスト対策として苦手な科目の授業を増やしてもらいました。そのおかげで、僕は三年生の定期テストで三回連続四百五十点を超えることができました。また、パンセは個別なので、分からない所を何度も聞くことができたという点も、僕のテストの結果に繋がっているのだと思います。

三年生になって部活が忙しくなった時、僕の周りでは「今日も塾に遅れてしまっよ。」と言っている友人が増えていました。しかし、僕は遅れることなくパンセに通っていました。なぜなら、パンセは受講時間を自由に選ぶことができたからです。そのおかげで僕は中学校生活を文武両道で過ごすことができました。

そして、受験間近になって、僕が私立の併願校に悩んでいる時、パンセの先生方も一緒に悩んでくれて、また的確なアドバイスをしてくれました。そのおかげで、僕は何も不安なく受験することができました。これらの過程を経て、僕は第一志望である所沢北高校に前期試験で合格することができました。これから様々な壁にぶつかることがあると思います。そんな

時は、パンセで学んだことを思い出して、前向きに自分の選んだ道を歩んでいこうと思います。僕は三年間パンセで勉強しつづけて良かったなと心から思います。

平成二十年度卒HH君  
日大鶴ヶ丘高等学校進学

ぼくは友達で紹介で個別指導塾に興味を持ち、パンセに入塾しました。

入ったのは中学二年の四月でした。中学一年のときのぼくは成績は、定期テストで三百点にいかないこともありました。しかしパンセに入ってから次のテストでは三百五十点くらいになり、次第に四百点は必ずとるようになりました。

特にパンセで習っていた数学と英語の内申点は5という成績でした。他にも中一の時には十点台だった理科は、中二では九十点を超えるほどになり、これはパンセのテスト対策授業のおかげだなと思いました。ぼくはこのように定期テストの成績がよかったため内申点は高く、無事に第一志望である東京都の私立高校に合格することができました。

ます。また、自分のやりたい教科の家庭学習についても適度に宿題を出してもらい、見てもらえたことも大きかったと思います。

平成二十年度卒YT君  
県立飯能南高等学校進学

僕は、小学五年生の時にパンセ個別指導学院に入りました。この塾は、先生方が一生懸命に、生徒が分かりやすいように勉強を教えてくれて、本当にありがたい事だと思いました。また、自分の学力にあったテキストを使わせていただいで、自分自身をやる気にさせてくれました。

中学一年の時に、僕は漢字検定四級を受けることになりました。パンセの先生方は、僕が漢字検定に合格出来るように、自習のときなど一人で勉強している時にも気軽に教えてくれました。このおかげで、僕は漢字検定四級に合格する事が出来ました。

中間テストや期末テストの前には、テスト対策として、授業を増やしてもらいました。この時に先生方は、親切に一生懸命に教えてくれました。そして、このおかげで、僕は全教科平均点を取る事ができました。僕は五年間このパンセで勉強する事が出来て良かったと思います。

平成二十年度卒YK君  
聖望学園高等学校進学

僕は中学三年生になるまで、受験というものをほとんど意識したことはありませんでした。しかし中学三年生になり、周りの友達との話題も高校受験のものが多くなるにつれ、自然と受験生としての心構えができました。

僕が少しずつ受験勉強を始めたのは、五月の定期テストが終わったところからでしたが、受験生としての心構えは少しずつできていったものの、やはりまだ「本気」の勉強とは言えませんでした。それはまだ入試が遠いことから、「このくらいでいいだろう」というどこか甘えがあったからです。

しかし夏休みまで約一ヶ月という時に、パンセの室長先生から夏休みの勉強計画を渡され、一ヶ月間のほとんどに授業が入っているのを見て、はじめは驚きました。でも「これだけ勉強すれば、目標の高校へ入学できる」と考え、そう考えることで、次第にやる気が出てきました。終盤になると少し疲れましたが、なんとかやる気で乗り切ることができました。僕はこの夏休みの経験から、「受験勉強辛い」と思ったなら、「この勉強をすれば、志望校へ合格できる」と考

えるようにしました。

僕は無事、志望校へ進学することができましたが、この結果を勝ち得たのは自分の努力だけではなく、自分の家族や、友達、学校の先生方、パンセの先生方の支えによって勝ち取れたのだと思っけています。お世話になった方々、全員に感謝して、高校へ進学したいと思いました。

平成二十年度卒YT君

工学院大学附属高等学校進学

僕は、パンセ個別指導学院に入って本当によかったと思えます。

一年生の時自分は、勉強をサボっていました。だから学校の成績はとても悪かったです。成績があまりにも悪かったので、まずいと思いパンセに入りました。

最初のうちは、勉強が嫌いだったから授業が面倒でした。しかし、先生の解りやすい授業のおかげで二年生のころには、パンセに行くのが楽しくなってきました。そのころから、少しずつ成績が上がっていきまし。そして、成績が上がるにつれて数学が得意だと気が付きました。先生達も数学はよく出来るなどと言ってくれました。それから僕は数学が好きになっていき三年生では、第一志望の学校を理

数系の工学院大学附属高等学校

を目標に頑張りました。北辰テストでは合格率が六十%前後でも不安でしたが、先生達はその不安が消えるくらいによく教えてくれました。そのおかげで工学院に合格することが出来ました。

そして、合格後も高校に向けた授業をしてくれました。今では、勉強が少し好きになった気がします。それもパンセの先生たちのおかげだと思います。

パンセに入って、とてもいい先生たちに教えてもらえて本当によかったです。

平成二十年度卒MYさん

白梅学園高等学校進学

私がパンセに入塾したのは三の春頃でした。受験で合格するためにパンセに入塾しました。

それまで私は数学が大の苦手でした。テストでも内申点でも数学が足を引っ張っていました。ただパンセに入塾してからあ

ただ最初のテストではなんと、九十点台を取ることができ、自己ベストの点をとることができました。その他のテストでもしっかりとパンセで見てもらったので良い点数を取ることができました。

ことが必要でした。そして、中

三の秋にもらった通知表では数学の内申点が上がっていて今までもあったこの評価が一つも無くなりませんでした。そして高校の個別相談会では目標としていたコースよりも上のコースの単願確約をもらうことができました。

入試直前の冬期講習では、私が入試に合わせた作文を中心に勉強をしました。初めは二百字にも満たない薄い内容の作文しか書けませんでした。しかし、授業を重ねることに書きたいことを文章に表せるようになり、六百字の作文も余裕で書けるようになりました。

そして、迎えた入試本番では作文を充分に見直しができるペースで書くことができました。面接でも先生と練習した通り、はきはきと受け答えができました。

その結果、見事に第一志望校に合格することができました。パンセに通っていて本当に良かったと思います。

平成二十年度卒MYさん

西武台高等学校進学

私がパンセに入塾したのは中学三年生になってしばらく経ってからでした。他の人たちは受験勉強が進んでいたの、私は今からでも間に合うだろうかと心配でした。

しかし、パンセの先生方の指導

により、不安が少しずつ消えていくようでした。先生方の指導は、いつもわかりやすく、おもしろく、この塾に入ってからよかつたなあと思いました。

夏休みになりました。夏期講習が始まりました。夏休みでは学校がないので、パンセで何時間も学習出来ました。自分に合わせてゆっくり教えてもらえるので、一、二年生の復習はとても良く出来ました。

時が過ぎ、受験の雰囲気も高まる冬になりました。教室の雰囲気も高まるにつれて私の中の受験への不安も高まってきま

た。冬休みには遊ぶ時間などない、と学校の先生に言われていました。先生の言うとおり、生徒の冬休みは遊ぶ時間などなく、ほとんど勉強の時間でした。

でも、パンセでの授業に勉強の辛さはありませんでした。先生方が楽しく、面白く教えてくれます。

冬休みが終わりに、私は試験会場に足を運びました。少し不安はありましたが、今までやってきたことをやれば大丈夫と自分に言い聞かせ、そして結果は合格！ 私はパンセに通って本当に良かったと思いました。

平成二十年度卒MCさん  
県立人間向陽高等学校進学

私は中学一年生の夏、この塾に入った。最初は塾の先輩がとっても怖くて自分でも心をひらけないでいた。

最初に私は、家族と相談をして一番苦手な数学をやることになった。体験授業では自分でもよく覚えているほど緊張していた。しかし塾長や先生方は、とても優しく私に接してくれた。先輩に怯えていたときにも時間帯を変えたり、メンタルケアもすっかりとしてくれていた。そしてそれが私の今後の支えになっていった。

一番最初にとった苦手な数学では、自分でも驚くくらいできなくて塾に行くのが憂鬱になっていた。学校での成績もどうしても数学だけがのびていなかった。反対に新しく始めた理科では、理科のおもしろさや奥深さにどんどん心を引かれていった。成績もあがっていった。しかしどうしても数学がわからない。なんでだろう、どうして得意になれないんだろうと考えたけれどもやっぱり無理だった。

そんな時、塾の先生は私が数学嫌いなものを知って少しでもわかりやすいように工夫して教えてくれた。その後中学二年、三年と教科を増やしていきテスト

のたびに自習に來たりしていた。そして中学三年生、受験という最初の大きな壁にぶちあたった。勉強、勉強の毎日にこんなにも勉強して意味はあるのかな？ともうやめたくなかったし、私にかけられる先生の励ましの言葉も自分自身には痛いものとなっていった。けれどある時一人の先生が、私に皆君のことをとても心配しているから受けとめなさいと言われてこれからはしっかりやらなくてはと思い始めた。

そこから私は志望校に向けて勉強を頑張った。時々、すごく嫌になって崩れそうになったことはあったけれど先生の言葉を自分の中で思い返してひたすら頑張った。そして念願の第一志望校に合格できた。この合格は絶対に一人ではつかみとれなかったし、まわりの先生方や塾長の支えがなければ途中であきらめていたかもしれない。私の心の支えがこの塾で本当によかったと思っている。

平成二十年度卒MTさん  
県立川越南高等学校進学

私は、二年の十一月頃に塾に入りました。私はとても勉強が嫌いでした。特に数学は、全くわからなくて、学校の授業がともつまらなかつたです。しかし、塾での授業をしている内に、わからなかつたところもわかる

ようになり、学校での授業も楽しくなりました。それから、塾で予習をしているから、学校で単元が変わったときもわかるので、とても楽しかつたです。今では、一番楽しく、得意な科目になりました。

途中から英語も増やしました。基本が出来ていなくて、授業中に黒板に書いてあることが全くわかりませんでした。だから、塾では文法を基本からやり直しました。基本がわかつたため、学校の授業もわかるようになりました。英語も今では、得意科目です。

この二教科を塾でやり、予習と復習はとても大切なことだと改めて思いました。

三年になって受験生になったため、勉強を意識するようになりました。塾では理科を増やしました。理科は本当に苦手科目でした。しかも、どこが苦手でどこが得意かわからないくらい、内容がわかつていませんでした。しかし、塾で苦手を見つけて、それを克服することができました。

勉強の仕方がわかると、勉強が少し楽しくなりました。部活との両立が大変だったときもあつたけど、最後まで頑張られて嬉しかつたです。高校に行つても、パンセで学んだことを忘れずに、頑張つていきたいと思つています。

平成二十年度卒CAさん  
県立新座総合高等学校進学

パンセに入つて、まず初めに思つたことは先生たちがやさしかつたことです。初めての塾で、もつときびしい先生たちが教えるのかと思つていましたが、自分にあわせて教えてくれたので、とても分かりやすく、頑張れました。分らないことは基礎からきちんと教えてくれるので、学校の勉強でつまずいた時も分かるようになりしました。

学校の授業中に塾で予習をしていた問題がでて、当たつた時はうれしかつたです。今まで予習をすることがなかつたので大事だなと思つました。

夏期講習や冬期講習の時間では高校に向けての目標ができ、それに向けて頑張りました。みんなも頑張つているから自分も頑張ると初めは思つていましたが、やっぱり自分のために今、できるだけ一生懸命頑張るのが大事なんだなと思つました。私は塾でも一時間でたくさんのが学べるように、毎日気合を入れて頑張つていきます。

平成十九年度卒MEさん  
早稲田大学文学部一年生

私は中学校二年生のときに、パンセに入塾しました。そして

英語と数学を受講しました。また、テスト前には理科や社会も受講することができ、偏りなくすべての科目への理解を深めることができました。そしてだんだんと勉強の仕方や楽しさを知ることができました。そのおかげで第一志望の公立高校に合格することができました。

高校に入つてからも、学校の授業の進度に合わせて、パンセで英語や数学を勉強してました。中学校よりも授業は難しくなるうえにどんどん新しい単元へと進んで行き、高校生になつてからは勉強でつまずくことが多くなりました。しかし、パンセでは自分のペースで自分の希望通りの勉強ができ、つまずいてもその都度パンセできちんと理解することができました。

三年生になると、大学受験を意識し始め、英語と数学に加え、国語も受講するようになりました。得意だつた英語はパンセプリントで英語力に磨きがかかり、受験本番では得点源にすることができました。苦手だつた数学は、パンセプリントで計算問題を沢山こなし、土台となる基礎学力が身につけられ、センターの問題も解けるようになりました。

入試当日は、パンセのおかげで、自信を持ってテストに臨むことが出来ました。結果は国立

大のほか幾つかの私大に合格しました。

進学先は、大学に入ってからのことや卒業してからのことを考えて早稲田大学に決めました。今は早稲田で毎日充実した大学生活を送っています。これもすべてパンセのおかげだと思っています。

平成十七年度卒MSさん

県立豊岡高等学校進学

私はパンセに入塾してから受験が終わった今、パンセの先生方にとっても感謝しています。

入った最初の頃は、あきらめが早く、分からないことは分からないまま終わらせていました。けれど、先生方にはそんな私の事が分かっていて、私にわからなさそうにしている時、何度も「本当に分かった？」と聞きながら同じような例題を分かるまで説明してくださいました。

また、具体的に私が苦手な部分をしっかりと分かっていてくれて、たまに「この前やった覚えてる？」と言って復習させてくださいました。

これらのことのおかげで私はいくらだん分らないところを自分から聞けるようになりました。また、塾内だけでなく、学校や家でも不思議に思ったことや、分からないことを素直に聞ける

ようになりまし。そして「あきらめない」ということを学びました。

そして受験の当日。一時間目の国語の時、どうしても文章で書けないところがありました。前の私ならあきらめてました。でも、駄目もとで自分なりに書いてみることにしました。他の教科も時間がなくて間に合わなかったところ以外、できるだけ空欄を減らしました。

受験が終了して、発表までの一週間、私は本当にテストに自信がなくて、前半は一日一日の夜がとても怖くて心配でした。でも、「自分はやるだけやった。」と思うと少し気持ちが楽になりました。

発表日。自分の番号を見つけた時あまりにも嬉しくて涙が溢れました。ここまで成長できたのは、今まで頼りない私のために何回も何回も丁寧に指導してくださいました塾の先生方のおかげです。本当にありがとうございます！

平成十六年度卒KT君

玉川大学教育学部進学

私は小・中学校と不登校を経験し、その分の学習が抜けていたことや、学校のカリキュラムが学習より通うことを重視していたため、大学進学は学校だけ

では到底無理で、予備校に行くにしても、勉強についていくだけの学力はありませんでした。

そのため、私は自分の今できる勉強からスタートしてくれる塾をさがし、個別指導のパンセに入りました。高2の夏でした。私は玉川大学の教育学部を公募制推薦入試で目指すことに決めました。

はじめは入試に必要な英語をとり、be動詞・一般動詞や5文型から学びました。ホワイトボードを使いながらの授業は新鮮で、わからないところはわかるまでやりました。

学習が着々と進んでいく中、心理面が辛くなってきました。受験まで日が浅くなるにつれて、受験に対する不安と葛藤が膨らみ、特に周りの友達の多くがあまり勉強をせず、遊んでいる人が多かったため、周りの学習のギャップが大きすぎて疎外感がありました。今では笑える思い出ですが、当時はかなり頭を抱えていました。

そういう時は、逆にパンセの自習室を利用したほうが楽でした。周りは勉強している人ばかりだったので、受験対策をしている気持ちと共に、自分の中の疎外感を軽くすることができたからです。

また、パンセでは学習面だけではなく、生徒へのメンタル面

での心遣いもありました。一度友達とけんかをして授業に遅れたときも、先生は私の心を察してくれました。

努力の末、入試当日は自分でも手ごたえを感じ、それは結果に繋がりました。受験は大変でしたが、自分を育てるいい機会になりました。

平成十五年度卒TK君

県立所沢高等学校進学

ぼくは受験をしてみても後悔しなかったことがあります。まず、夏休みの勉強をもっとしっかりとやっていたらよかったと思いましたが、ぼくは夏休みに勉強するきがほとんどおきなくて塾以外で勉強はほとんどしませんでした。ほんとうなら中学3年間の復習を夏休みでしっかりと行っていたらよかったので、もっとしっかりとやっておけばよかったです。

あと後悔したことは受験前の取り組みでした。本当なら受験を間近に控えて緊張などから、いろいろ勉強や面接の練習などをしていなければならぬ時期にゲームをしたり、マンガ本を読んだりしてしまいました。この時もおちやんと勉強していれば第一希望の高校も受かっていただかもしれないと思えました。

なぜ、すこしの期間がまんする

だけのことなのに、自分にそれが出来なかったことをすぐ後悔しました。受験で後悔したことをこれからの生活に役立てていけたらいいと思えました。

あとぼくがパンセに入ってからよかったことがあります。まず、ぼくはパンセに入るまで英語がぜんぜんできませんでしたが、学校でも一番きらいな教科は英語でした。でもパンセに入ってから英語を勉強して今では一番好きな教科になりました。まさか自分が英語ができるようになるとは思いませんでした。それから、ぼくはパンセが個別の塾でもよかったと思っています。先生たちがぼくたち一人一人にとてもわかりやすく教えてくれたので、やっているほうもとてもやる気がでて、取り組みやすかったです。

ぼくは正直勉強はきらいです。でもぼくはパンセだからがんばれたんだと思います。塾長先生やほかの先生がたのおかげもあって志願校に合格することができたと思います。ぼくは塾がパンセでとてもよかったです。



未来をつくるパンセ